



100歳おめでとうございます ～松野下 スミさん (明和町)

■7月15日にめでたく100歳を迎えられた松野下さん。同日、南方園において市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

松野下さんは、三味線を弾きながらはんや節などを歌うのが好きで、テレビ出演されたこともあるそうです。当日、南方園で開かれた誕生会では、たくさんの人から祝福を受け、うれしそうにしていました。



犯罪を防止する明るい社会を築くため ～社会を明るくする運動

■7月は「社会を明るくする運動」強調月間でした。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築こうとするものです。

これに伴い、枕崎市保護司会が7月1日に市役所を訪れ、法務大臣のメッセージを瀬戸口市長に伝達しました。また、7月7日には教育関係者など約45名を迎え、市内のホテルで更生保護懇談会を実施し、この運動に対する理解を深めてもらいました。更に、7月25日に市営野球場で行われた市少年野球大会の開会式でもメッセージの伝達をするなど、PR活動を展開しました。

今年も水難事故がおきませんように… ～山下集落 半夏生の水神講

■山下集落の水神講が7月2日、同公民館で行われ、水の恵に感謝するとともに水難事故がおこらないようにと水神を祀りました。

山下集落では昔から、半夏生の日（夏至から数えて11日目）に、集落のひとたちが公民館に集まって水神を祀り、集落内の水源（井戸など）へのお供えも怠らず続けてきました。

この日は水神を祀ったあと、子どもたちが花渡川沿いにある井戸水が出る場所で、お神酒を注ぎました。

同公民館長の竹中和幸さんは「井戸や田んぼ、作物があるのはすべて水のおかげ。水の恵に感謝したい。また、この集落では長年、水難事故がおきていない。水神講は後世に伝えていかなければいけない大切な伝統行事」と語ってくれました。



自己ベストを目指して 懸命な泳ぎ ～市小学校水泳記録会

■市小学校水泳記録会が7月22日、市営プールで行われ、各小学校5、6年生の代表約160名が18種目の競技に出場しました。会場からは、自己記録に挑戦する選手たちに大きな声援が送られていました。



10時58分 高見町 撮影データ
篠原 正司さん 撮影 ■300mmレンズ、ISO100、シャッター
スピード30分の1、絞りF11

▼しかし、あいにく空は厚い雨雲に覆われ、参加者からは「もう観れないかも…」という声も聞かれ、諦めかけていたとき、雲の切れ間から三日月のように細くなった太陽が出現。会場は大歓声に包まれ、みんな夢中になって日食めがねを目にあてて観察していました。当日は、火の神保育園の学童15名も参加。栗野菜さん7歳は「26年後もこのように観れるといいな」と国内で見られる次の皆既日食をもう楽しみにしているようでした。

願いが通じた 感激の瞬間

▼南浜館では、午前9時から皆既日食観覧会が行われ、子どもから大人まで約200名が参加しました。観覧会では、はじめに南浜館内で講師の深川光久さん（市教育委員会）から日食の仕組みについて大小さまざまなボールを使い、分かりやすい説明がありました。説明が終わりに外に出ると、次第に辺りは夕方のように薄暗くなり、日中とは思えないような涼しさに参加者は驚いた様子でした。

太陽の98%が隠れた
神秘の体験に感激



本格的なバレエの舞台に感動 ～青少年のための芸術鑑賞事業「バレエへの招待」

■平成21年度青少年のための芸術鑑賞事業～バレエへの招待～が6月19日、市民会館で開催され、枕崎中学校の全校生徒や保護者などが鑑賞しました。

舞台は、バレエの楽しみ方を教わるバレエ教室から始まり、全4部構成。優雅なバレエの演技に生徒たちも感動した様子でした。

また、枕崎中学校の体育選択メンバーによるロシアダンス『ジャガイモ』も披露され、会場から大きな拍手が送られていました。



お茶を学んで おいしく飲みました ～別府小学校でお茶の淹れ方教室

■お茶の淹れ方教室が6月24日、別府小学校で行われ、6年生23名がお茶の淹れ方について熱心に学びました。

教室では、日本茶インストラクターの衛藤隆徳さんが、お茶の成分や効果についてクイズを交え説明したあと、全員でおいしいお茶の淹れ方の実践をしました。

参加した松崎太一くんは「お茶のいろんなことを知った。家でちゃんと淹れ方をして、おいしく飲みたい」と話してくれました。